

フィガロン乳剤の登場に思う

生育調節剤利用が活発に研究され、常緑果樹ではフィガロンが温州ミカンの摘果剤 NAA に代わって登場してきた。このフィガロンは NAA よりやや遅く、実どまりがわかってから散布でき、NAA のようにブクミカンになる傾向がなく、NAA の欠点をカバーしているので、柑橘界で今後の貢献が期待される。これによって、ミカン生産過剰による不況から脱出する端緒をつくって欲しい。生育調節剤は、樹体の代謝作用に直接関与して効果をあらわすものであるから、除草剤が樹の圏外で作用して効果を間接的に支えるのとは趣を異にする。従って、その使用に当っては、気温・降雨・土壌等の外界条件だけでなく、樹勢・生育・結実程度等の樹自体により効果が左右されるので、生産者は樹に直接与える剪定と同様に、使い方を工夫しなければならない。その上、使用方法によっては浮皮軽減・増糖・着色促進効果があり、時には減酸効果もあるようだ。これらの品質向上にフィガロンが果実の肥大に抑制的に働くことと関係するようである。即ち、フィカロンの間接的影響であるから、条件によってはこれらの効果がでたり、あるいはでなかったりするようである。元来、糖・酸・肉質等の果実の食味の主要構成要素を、薬剤の散布くらいで容易に左右できることは、生産者にとって大なる福音であるが、これらの要素の発現は、摘果以上にデリケートに大きくふれ易いので、単純に考えられず、果樹栽培を邪道に導くおそれが多いであろう。

〔財団法人日本植物調節剤研究協会理事
明治大学農学部教授

佐藤公一〕

目次 (第 15 巻第 5 号)

そ菜・花き用除草剤の試験を始めた頃…… 2

〈野菜試験場 西貞夫〉

1. 農技研・園芸部の研究者になるまで…… 2
2. 除草剤・生育調節剤との係り合い…… 5
3. 除草剤・生育調節物質試験への深入り…… 7

昭和55年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績概要…… 10

〈財団法人 日本植物調節剤研究協会〉

- 昭和55年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験薬剤一覧ならびに判定表…… 10
1. 除草剤(含資材)…… 10
 2. 前回未検討除草剤…… 14
 3. 生育調節剤…… 15
 4. 前回未検討生育調節剤…… 16

外国文献抄録

Chlorsulfuron について …… 18

新登録除草剤一覧…… 20

新登録生育調節剤一覧…… 22

表紙の写真は、カタバミの種子表皮細胞を走査電子顕微鏡で撮影したもの、亀甲突起型、4000 倍。

〔写真提供者；笠原安夫氏〕